



12月9日(土)

## 身近な自然と森林の大切さを学ぶ 第18回森林シンポジウム

**美**

美しく豊かな自然環境を守り、森をどう育てていくのかを考えるシンポジウムを12月9日(土)、岸本公民館で開催し、町内外から約70人が参加しました。

シンポジウムでは、岸本中学校2年生が伯耆町丸山での林業体験を発表したほか、とっとりとうほく・とうほく海岸防災林再生プロジェクトに参加している、八郷小学校5、6年生が南相馬市で行われた「うつくしま育樹祭」の参加報告をしました。

その後の講演会では、大山町教育長の鷺見寛幸さんが、「森林は豊かな水資源を守ったり、土砂災害を防止したりするなど、重要な役割を持っています。」と話し、大山の自然と森林の役割について解説しました。



▲林業体験の発表をする岸本中学校2年生

12月23日(土祝)

## ウィンタースポーツシーズン到来 大山ますみず高原スキー場開き祭

**シ** ーズン中の安全と降雪を祈願するスキー場開き祭を12月23日(土・祝)、ますみず高原スキー場で開催しました。

当日のゲレンデは10cm程度の積雪しかなく、リフトの運行とパネル滑走は行われませんでした。会場では豚汁の振る舞いや、豪華賞品が当たる抽選会が行われ、多くの人で賑わいました。

安全祈願祭では、スキー場関係者などが今シーズンの安全を祈願し、今後の降雪を祈りました。



▲豪華賞品が当たる抽選会



▲安全を祈願する関係者ら



1月7日(日)

## 地域の安心安全を願って 新春恒例 伯耆町消防団出初式

**伯**

善町消防団新春恒例の出初式を1月7日(日)、伯耆町農村環境改善センターで開催しました。総勢78人の団員が、今年1年の地域の安心安全を願って、防火防災の決意を新たにしました。

式典では、長年消防団員を務めた功績などをたたえ、25人の団員に大江國夫団長、森安保町長から表彰状が贈られました。また、森安保町長が「一人ひとりの活動が、地域住民の安心安全につながっている」と訓辞をし、この1年の団員の活動を労いました。

続いて、団員らは

関団、分列行進のあと日野川土手に移動し、日野川に向かって一斉に放水しました。



▲関団を受ける消防団



▲団長表彰を受ける第4分団・亀口 伸団員